## 平成22年 ふれあい座談会

主	催	ふじみ野市
テー	マ	大井総合支所の再整備について
日	時	平成22年11月25日(木)・午後8時~9時30分
場	所	大井総合支所 3 階・第 1 会議室
参 加	者	1 4 名
市		市長、副市長、総合政策部長、秘書広報課長

(市長あいさつ・市長説明 省略) 以下は主な質疑です。

参加者:支所への消防本部の移転は唐突。土地は支所だけではないだろう。支所 を本来の姿に戻すのは別問題ではないか。新しい施設の要望より、学校 の大規模改修をやるべき。

市 長:公共エリアということで消防組合から依頼があったと思う。指令台の更新が急務なことから民間の土地を交渉している時間が無いとの判断と思います。

参加者:児童センターが上福岡地域にあるから大井地域に造るというのであれば要らない。支所の大規模改修をすれば良いのであって、市の中心に消防署を造るのでなく、分団を活用してはどうか。教育環境を充実して欲しい。音楽施設も良いのでは、所沢のミューズの様なのはできないか。

市 長:消防から打診が来たということです。児童センターを造って欲しいという声も多いです。何らかの文化施設を整備できればとは思います。

参加者:なぜ、この場所が消防なのか。現在の図書館はどうするのか。まとめる ならば、図書館付近は道路も狭いし、歩道も整備する必要があるのでは。

市 長:民地の交渉には時間がかかる。道路・歩道は消防に関係なく、必要と考えます。

参加者:民地の地権者の了解は取れてるのか。

市 長:もし、進めるのならということで了解を得ています。それでないと消防 に返事ができません。

参加者:町会長に説明した際、反対があったようだが、一部を除いて賛成なのか。

市 長:有効利用できる施設を望む声が多かったです。消防に回答した後も説明 して行かなければと考えています。支部社協でも説明しましたが、反対 意見はありませんでした。